

加茂ってどんな場所？



沿岸には多くの
漁船が並ぶ！！

キラキラ輝く海！
まさに
“憧れの港町”

海だけじゃない！？
歴史的建造物も
たくさん！！



加茂には 寺や神社が
いっぱい！



加茂の歴史にまつわる
立て看板も！

我々加'mon!は！
加茂を愛する人たちに
お話を聞きました！



学生団体加'mon!について

加'MON!は 2019 年に結成されて以来、加茂地区自然マップの作製や、「加茂地区まちあるき加茂をあるいはみよう」の企画と進行に携わり、加茂地区を活性化するために活動してきました。

Instagram に投稿もしているので気になった人はぜひチェックしてください！

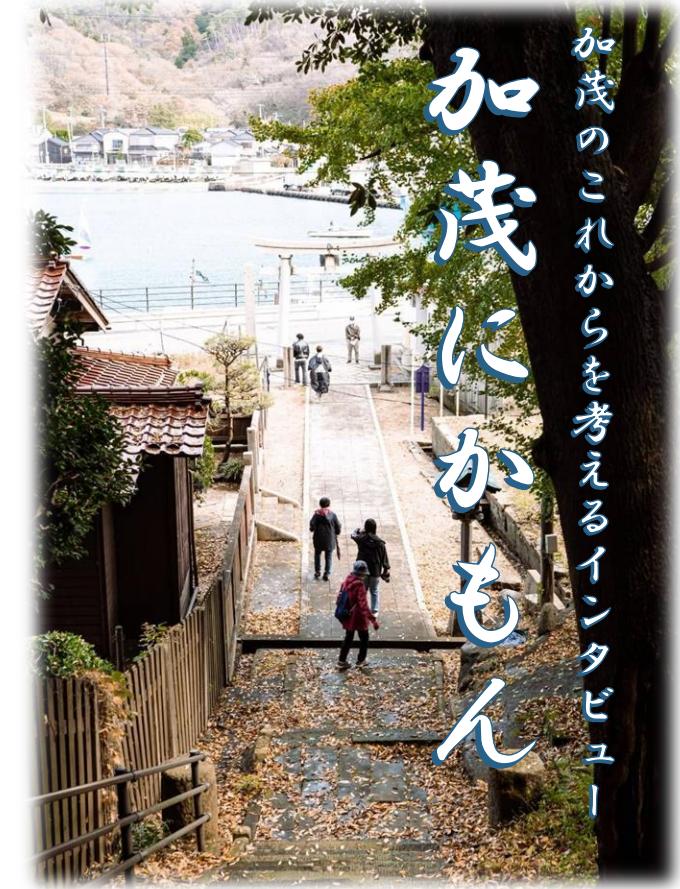
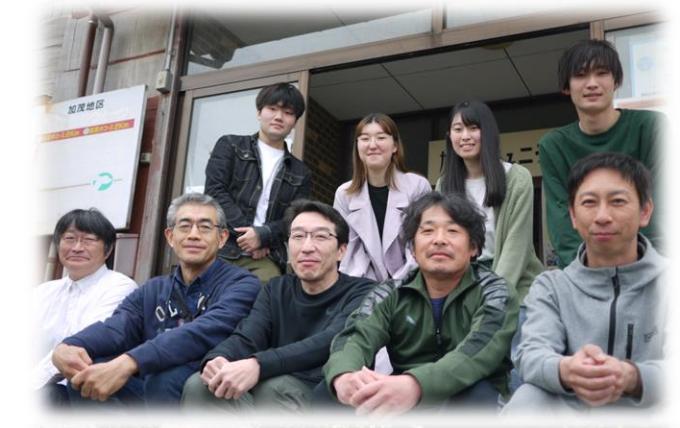


まちあるきイベント
に参加した時の写真
です



・制作
東北公益文科大学 学生団体 加'mon! (カモン)
・撮影協力
井上颯真 Instagram:@itosan_417
・発行
2022年6月
東北公益文科大学 地域共創センター
山形県酒田市飯森山3丁目5番地の1(〒998-8580)
電話:0234-41-1115 FAX:0234-31-2082
Mail:kyoso@koeki-u.ac.jp

このパンフレットは令和4年度「公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)」の支援を受けて作成しました。



学生団体加'mon!

 東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science



ITOdesigns
(アイ・ティ・オー デザインズ)
合同会社
伊藤 薫さん

将来の加茂を見据えて市役所を早期退職。建築士という立場から、デザイン事務所を立ち上げる。



加茂泊町大黒舞
大坂智之さん
佐藤篤さん

高齢化により後継者が減りつつある”大黒舞”の保護活動をしている。



Q. 大黒舞とは。その特徴や魅力について

A. 加茂泊町大黒舞は、大黒様と恵比寿様が対になって異なる舞をするところが特徴です。全国的に伝えられている大黒舞は大黒様の格好をした数人が舞うというのが主流ですが、加茂の大黒舞には恵比寿様がいらっしゃるという違いがあります。楽器を使わず、唄いに合わせて舞うところや、北前船寄港地名が歌詞に出てくるところが魅力です。

Q. どんな活動をされていますか？

A. 文化会館など様々な場所で大黒舞を披露しています。しかし最近はコロナの影響で披露する機会も減り、練習もあまりできていないのが現状です。コロナが落ち着いたら、より多くの場で大黒舞を披露していきたいと考えています。

Q. 今後どのように大黒舞を伝えていきたいですか？

A. 2019年に日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に認定されからは、とにかく大黒舞を無くせない！という思いで若い方の入会を求めてきましたが、今後は入会者増員と並行し、子供たちへの伝承も行っていきたいです。春日神社の 獅子舞を旧加茂小学校の子どもたちが学んできたように、泊町 大黒舞も今の子どもたちに伝えていきたいです。

一般社団法人
大好きな加茂
尾形 昌彦さん
田澤 直也さん
尾形 綾子さん

加茂地区にある資源を活かし、持続可能な町にしていくことを目的に地域で活動している。

Q. 加茂にはどんな魅力がありますか？

A. 加茂の魅力は山と海に囲まれていて自然豊かなところだと思います。また、鎌倉時代の石像や、江戸時代中期から明治時代までは北前船が往来していたこともあり、町の至るところで歴史を感じることができます。

Q. 今後どんな活動をしていきたいですか？

A. 水族館のオープンにより加茂に来る人は増えましたが、町の方に来る人は少ないので、もっと来る人を引き留められるようなものを増やしていきたいです。最近加茂に移住した人にも聞き込みを行い、新たな魅力を探っていきたいです。

Q. 将来の加茂で一番基盤となるのは何ですか？

A. ずっと安心して暮らせる町であることが大切だと考えます。楽しいイベントを沢山開催していきたいというのも分かるけれど、そこに住めるかどうかというのが一番の基本となると思っています。

Q. 事務所を立ち上げたのなぜですか？

A. 地域内外の人々・団体と地域デザインを行なっていきたいので、事務所を立ち上げました。そのために加茂に関わる多くの方々と協力していきたいと考えています。

Q. 地域デザインとは何ですか？

A. 地域デザインとは、地域を歩いてそこで暮らしている人々の話を聞き、地域の課題や地域外から見た時に気になることを見つけて、デザインしていくことです。大切なのはひとりで進めるのではなく、住民や学生、様々な団体の皆さんと話し合いながら進めていくことです。その中で行政に携わっていた者として、そして建築士としての経験から、空き家の利活用などを提案・実現していきたいと考えています。

Q. これからの加茂に必要なことは何でしょうか？

A. 各世代が安心・安全に暮らし、魅力ある町にすることが目標です。また一日の生活が加茂だけで完結することも理想的だと思います。車を使わなくても買い物に行ったり、仕事をしたりできる人が増える町にしていきたいです。